

## ■Tr 01 異世界へのいざない

教師としての仕事を終えて、疲れ切ったあなた。

夜遅く、人通りのない帰り道で、かねてから思い描いていた妄想が頭をよぎる。

『大人としての責任を投げ捨てて、思う存分、ママに甘えたい。  
いっそのこと、なんにも知らない小さな女の子になって、  
いやらしく責められたい。そうして気持ちよくなりたい』——と。

それは、あなたが心の奥底に秘めていた、  
決して叶えられない望み。

だが、あまりに強すぎる思いは、  
現実をゆがめて、異界の扉さえ開いてしまう。

歪み切った妄想とたわむれて、そこに浸りきっていた、そんなとき……  
あなたは、急な立ち眩みに襲われてしまって——

我に返ると、薄暗い袋小路に立っていた。  
そうして顔を上げると、目の前には、  
「夢見」と書かれた看板の、きうびやかなお店があった。

そこはディスコ「夢見」  
決して、ヒトが迷いこんではいけない、  
サキュバスたちの秘密の楽園。。。

あう、いうっしゅい。キミはここ、初めてよね？

んふふっ、怖がらなくても、いいのよ。

わたしの名は、スノウ。今日のパーティーの主催をしているの。

さ、こちらへどうぞ。

んふっ、ステージが気になるかしう。

あそこで踊っている女たちは、みんなサキュバスよ。

羽根や尻尾、角はコスプレなんかじゃないの。

肌の色が鮮やかな青の子や、爬虫類の尻尾や足の子もいるでしょう。

どうしたの、私のほうをじっと見て。

くすすっ、気づいちゃったかしう♪

わたしもヒトじゃないわ。男の精をかてに生きる魔性の存在——

サキュバスのスノウよ♡

このお店にいるのは、みんなサキュバス。

今日は年に一度の、淫魔たちの宴の日なの。

誰かと一緒に来たわけじゃなさそうね、キミ。

こんな日に迷いこんでくるなんて、本当に運がいいわよ。

見て？みんなエッチな顔をして一心不乱に踊っているでしょう？

催淫薬の入ったシャンパンを飲んでいるからね……ふふ♪理性なんてもうないわね。

エッチなバーサーカー状態ってワケ♪

あ、待ちなさい。

んふっ、捕まえた。ぎゅ〜っ♡  
せっかくの獲物、逃がすわけじゃない。

ここは私たちサキュバス専用の、  
特別なディスコなのよ。

あう、ディスコってピンときてないみたいね。

ほう、こうやって……  
あっちにいる子たちみたいにえっちに身体をくねらせて踊ったり。  
こんな風に……少しはだけで……お互いの温かさを感じたり。  
そして一緒のお酒を飲んで……ごくっ……

視線と吐息が交わったころ……その先は、わかるかしう？  
ふふっ、ここはそういう場所、大人の社交場よ♪

そんな場所に迷いこんでくるオスだなんて、  
はぁ、はぁ、とってもレアなのよ。  
そんな子を、簡単に手放すわけじゃないわよね。  
くすくすくす。

ね、もう少し、ここで遊んでいかない？  
くすすっ、悪いようには、しないから♪

それに、キミのここ♡ だんだん膨らんできてる……  
サキュバスのエッチな体に抱きつかれちゃったら、  
こうなっちゃうわよね。くすすっ。

あとは、こうして、す〜りすり♡  
股間を手で、少し撫でてあげるだけで、あふ、はふう、  
す〜りすり、すりり、すりり、  
どんなに身持ちの固い男でも、いちころ♪

す〜りすり、す〜りすり、  
ガチガチに勃起してきちゃって、ズボンの前、パンパンね♪

もう我慢できないんじゃない？ 素直になっていいのよ。  
人間が私たち、サキュバスに逆うえるわけじゃない。

はあ、はあっ、どんなオスでも、やりたいときに墮として、  
ふう、ふうっ、セックスできちゃうの、それがサキュバス♪  
んふっ、最高でしょ？ ね、どう思う？

って、それどころじゃなさそうね。  
す〜りすり、す〜りすり♡

爆乳を擦りつけられながら、お股をす〜りすりされたら、  
もう答える余裕なんてないよね♪

このお店に入ってくるヒトはみんな、  
サキュバスの餌として持ち込まれるのよ。  
はふ、くふう、そうして死ぬまで精を吸いつくされるの♡

普段でさえ死ぬまで精液を搾り取るサキュバスが、  
今日は宴で催淫薬の入ったシャンパンを呑んでるからね？この意味わかるわよね…？

でもお……キミは自分ひとりだけで、淫魔の宴にやってきた。  
普通は私たち、淫魔にしかできないことなの。

でもキミには、できちゃった。  
それって、つまり……  
キミには、サキュバスになる素質があるってこと。

んふっ、よくわからないって顔をしてるわね。  
そう、インキュバスじゃなくてサキュバスよ♡  
じゃあ、はっきり言うわ。

ね、キミ、サキュバスになうない？  
わたしの魔力で、えっらい淫魔に変えてあげるわ。

このビッキビキにそり返ったオチンポも取って、  
代わりにドスケベなエロマンコをつけてあげる♡

全身の性感帯も開発しつくして、す〜りすり、すりり、  
精液でしか生きられない体にしてあげるから。  
くすすっ、とっても素敵なことじゃない？

オスのチンポを咥えこんで、よがりまくって、  
す〜りすり、すりり、すりり♡

今の体じゃ決してありえない、すりり、すりり♡  
最高の快楽を味わわせてあげる♡

ほうぁ、どうかしら？

すりすり、すりすり、すりり、すりり♡

今でもオチンポ、ズボン越しにスリスリされて、

出しちゃいそうなのに？ もっと、もっと気持ちいいことできちゃうのよ。

すりすり、すりすり、すりり、すりり♡

んふっ、勃起チンポ、ビクビクしてえ、

もう出ちゃいそうね、すりすりすり、すりすりすり♡

だったら、ほうほう、出せ♡

出せ出せ出せ♡ 出しちゃって♡

濃い精液、ズボンの中に思い切り♡

ぶちまけちゃいなさいい~~ッ♡♡♡

あう、下半身ビクつかせちゃって、

いっぱい出ちゃってるみたいねえ。

アへった顔さうしたまま、ズボンの中に、

浅ましく射精しちゃったのね。

はぁ、情けない子。少しぐらい我慢できなかったのかしら？

くすくすくす♪

あううっ、さすがは、サキュバスたちね。

キミの精液の匂いで、集まってきちゃったみたい。

せっかくだから、みんなに見せつけながら、  
キミを甘やかしてあげるわね。

んんっ、んしょ、んしょっ、ナマのおっぱいを左右とも、  
露出してえ……んふ、はふうっ……………ふう……ふうっ……♡

これだけ大勢の前でだと、あふ、んふう……  
サキュバスのわたしでも、刺激的♡

はあ、はあっ……いやらしく高がってえ、んふ、くふう、  
おムネの失っぱ、立ってきちゃうのお……♡

さ、勃起したわたしの乳首い、んんんっ♡

そうよ、啜えて♡

ひふ、くふう、ちゅぱちゅぱして♡  
あん、あん、あん♡

素直ないいコ、んひ、はひい、もっと吸っていいのよ、  
んふあ、あふああ、そ、そうっ……♡  
溢れた母乳、いっぱい吸って、あん、あんん、あふ、くふう♡

ふひ、んひい、あふ、はふう♡  
もっと吸ってえ♡ うん、そうよ♪  
ふう、ふうっ、私のミルク、ママのものだと思って、  
いっぱい啜って、ん、んんっ♡

んあ、んああ、いっぱい母乳溢れてえ、ん、んんっ、  
顔中、どろっどろね。なのに必死に、ちゅぱちゅぱして♡  
はぁはぁ、キミに授乳してると、ぞくぞくするわ♪

あ、今の声、可愛い♪  
女の子みたいにエッチな声出しちゃって。  
オスのクセに、そんなメス声あげちゃって、いいのかしら？  
くすくすくすっ♪

あふ、んふう、私のミルク。飲むの、止められないわよねえ。  
サキュバスの母乳は、一度、口にしたら最後♡  
自分ではやめられない、中毒性があるのよ。

それに、今の声で気づいたかしら？  
キミの声帯、だんだん女の子みたいになっちゃってるの。  
少し高くて、透明な声♡ それが今のキミの声よ。

淫魔のミルクに酔いながう、キミは、メスになっていってるの。  
細胞のひとつひとつが、メス堕ちしていってるのよ。くすくす♪

さ、このまま仰向けになって。  
んふ、大勢のサキュバスに見られながう、キミを女の子にして、  
仕上げてサキュバスに作り変えてあげるから。

んふ、素直でいいわね。私のミルクをたっぷり飲まされて、  
もう自分の意志なんて、ないものね。



それじゃ、服を脱がしていくわよ。  
だって、せっかく女の子になるんだもの。

いやしくメスに変わっていく体、  
みんなに見てもうわないと。んふふふっ♪

んんっ、上着をまくりあげて——

ズボンも、パンツごと、んしょっ、  
下ろすわね。

んふっ、これですっかり生まれたままの姿ね。

さ、魔法でミラーを出して——

んふふっ、ほうぁ、よ〜く見て。  
これが、今のキミ。くふふっ、どんどん変わっていくから。  
自分が女の子だって、ちゃんと自覚してね。

体中、すっかりツルツルで、もちもちの女の子みたいな肌。  
手足もしなやかに、ほっそりしてきて、  
どんどん変わっていったるわよ。

ぱっくり可愛く膨らんだお腹をさ〜わさわ、  
きゅっと括れた腰をねちっこく撫でおろしてえ、  
お尻の膨らみも、す〜りすり、す〜りすり♡

んふっ、ねちっこく撫でまわすたびに、  
尻たぶがむっちりして、骨盤回りも横に張ってきてるわ。  
んふっ、もう妊娠できちゃいそうな下腹部よね♡

あんっ、けれど、オチンポだけはビッキビキ♡  
エッチに精液、だっうだう垂れ流しちゃってる。  
このアンバランス感、たまうなくいいわね。  
くすくすくす♪

んふふふっ、このままにしておくのも  
悪くないけど、もっと可愛くなりましょう♪

おムネも、エッチに撫でまわして、揉み捏ねてあげる。  
む～にむに、むにに、むにに。

だんだん膨らんできて、けど手のひらに隠れちゃうぐらいの、  
ちょうどいいロリおっぱい♡

けど、乳首は大きく膨らんで、女の子よね。  
はぁ、はぁ、可愛い♪　すごく可愛いわよ、キミ。

んふ、顔立ちもまつげが長くなって、  
顎もほっそりして、可愛い♡

小顔で、ロリっ娘、見てるだけでハァハァしちゃう。  
んふ、キミ、本当に可愛くなってるの、わかってる？

目の前のミラーを見て。おっきなピンクのリボンに、  
ツインテールとか、すごく似合いそう。んふふっ。

キミのこと、ますます気に入ったわよ。  
私、スノウの妹にしてあげる。

女の子らしい、可愛い名前も必要よね。  
ゆきちゃん、なんてどうかしら？

くすくす、サキュバス・スノウの妹で、  
しもべの、ゆきちゃん。くすくす、お似合いよ♪

んふふっ、耳まで真っ赤になって、可愛い。

可愛い、可愛い、可愛い♡ 可愛い♡

恥じうう姿、とっても可愛いわよ。

んふっ、可愛い連呼されるの、  
すっかりクセになっちゃったわね。

それって、心もメスに堕ちた証拠よ。  
くすくすくす♪

ほうぁ、エッチな女の子になった体、  
ねちっこく愛撫してあげるから。

お胸をむ～にむに、む～にむに、  
そこからぱっくりお腹を、す～りすり、すりり、すりり♡

ふふっ、お股に指を這わせて、内もものあたりを、  
な～でなで、な～でなで♡

だいが感度が上がってきたわよね。  
んふ、可愛い♡ けど、このオチンポが目障りよね。  
ゆきちゃんも、そう思わない？

今から、これ、取っちゃおっか。  
大丈夫、安心して。痛くないから。

サキュバスの魔力を注ぎながら、一気に抜きとってあげる。

ほうぁ、全身の力を抜いて？  
……今、オチンポのあたりに、だんだん魔力が流れ込んでるの、分かるかしう？  
それが玉袋のほうまで広がって……感覚がふわふわしてきたでしょう？

そして、思い切り玉袋ごと、根元を両手で掴んで……。

ほう、ね、こんなに強く掴んでも痛くないでしょ。  
強めにむにむにしても、気持ちよさしか感じてないよね？  
これ、おまんこを浅くくちゅくちゅされてる感じと一緒に♡  
いつもなうこんな感覚しないのに…不思議だね……？ふふっ♡

今から、ゆきちゃんは女の子になっちゃうのよ。  
ドスケベでえっろい、ビッチな女の子にね。くすくすくす♪

ここにぴったりピンクでかわいいおまんこができあがるの。  
少しの快感でもとろとろになっちゃう、えっらいおまんこ♡ふふっ♪

それじゃ、いくわね——

オチンポ引き抜かれてる時の感じ、すごいでしょ？  
一生分の射精してるような、神経が焼き切れる感じ♡

この気持ち良さで、頭おかしくなっちゃう子もいるけど、  
ゆきちゃんなら、きっと大丈夫♡

んんっ、あと少しだよ、ほうぁ、頑張っ♪  
んんんんん〜〜〜ッ！！！！

んふふっ、邪魔なオチンポはこれで、さよなら♡  
つるつるのお股のところに、いやらしい縦筋が入って、  
ロリおまんこの爆誕よね、くすすっ♪

ほうぁ、私の下腹部を見て♡

あ、ああ、あああっ、だんだん浮かんできてるのは、  
とっても淫うなサキュバスの証、淫紋よ♡

さ、ゆきちゃんのお腹からお股にかけて、  
魔力のこもった指先を這わせて——

私と同じ淫紋を、刻んであげる♡

これで、私とゆきちゃんは、サキュバスの姉妹よ。

んふふっ♪

ほう、あと少しで、キミは淫うな悪魔♡

女の子になっただけじゃなくて、サキュバスに堕ちちゃうの♡

さ、淫紋が描けたわよ。あとは発動させるだけ♪

大好き、ゆきちゃん♡

あ、今、いったわよね。ゆきちゃん。くすくす♪

サキュバスになって、さっそくメスイキだなんて、  
えっらいのにも、程があるわね。少し将来が心配♡

それじゃ、あうためて。

私のしもべにして、可愛い妹、ゆきちゃん♡

こちら側の世界へようこそ♪ んふふふっ♪

## ■Tr 02 歓迎会のはじまりはじまり♪

それじゃ、ゆきちゃんが私たちの仲間になった記念に、  
今から歓迎会を開きましょう。

まだ、ピンときてないのよね。

けど、今のゆきちゃんは、完全にロリサキュバスよ。

背が低くて、可愛い女の子で、

しかもオスを食べちゃうサキュバス♡

まだ、自覚がないかもしれないけど、

周りからはそう見えるの。

んふふっ、サキュバスの私が見ても、

ムラとしちゃうぐらい、可愛くて、魅力的なのよ♪

んもう、わかってないわね。

教師だったときのゆきちゃんとはもう全く別人なのよ？

今からお祝いのセレモニーで、

ゆきちゃんがサキュバスに堕ちたってこと、教えてあげる♡

はい、これがなにかわかるかしう？

んふ、いつも見てるから、気づいちゃうわよね。

そう、ゆきちゃんが男だったときのオチンポ♡

ふふっ、見慣れたモノでも、実感わかないわよね？

体から完全に分離されて、私の手にあるもの。

でも、魔法で感覚を繋げて——

私の手でねちっこく、し〜こしこ、し〜こしこ♡

くふふっ、まるでお股のそこ、扱かれてるみたいでしょ？

ね、ゆきちゃん。感じちゃって、声出ないの？

いいわよ、エッチに喘いでも、し〜こしこ、し〜こしこ♡

あ……その声、たまうなくいいわね。

し〜こしこ、し〜こしこ♡

だんだん勃起してきて、あとちょっと、くすすっ。

ほうほう、し〜こしこ、し〜こしこ♡

んふっ、完全にオチンポ、フル勃起しちゃったぁ♪

玉袋にも、たっぷりと精液溜まってえ、ぐつぐつ中で煮えてる。

出したい、出したいって、オチンポの竿、ビクビクしてえ、

もう射精寸前よね。くすくすくす♪

さ、このまま私と一緒に、二階へ上がりましょう。

上から、シャンパンタワーにザーメンを注いで、それで乾杯よ。

んふ、ほうぁ、もじもじしないで。こっちょ。

さ、ここよ。

ゆきちゃんの手で、はい。

しっかりと自分のオチンポを持って、

先走り汁で、どろっどろの竿♡

いやうしく扱いてあげて。



んふっ、そう女の子のちいさなお手手で、  
オチンポにぎにぎしてえ——

し〜こしこ、し〜こしこ。  
んふふっ、あんっ、いやらしい手つき♡

くすくすくす♪ とっても上手よ♡  
ずっとオスだったから、  
オチンポの扱いには慣れてるわよね。

いっぱい気持ちよくなって、射精して♡  
し〜こしこ、し〜こしこ。

ほうぁ、もっといっぱい、抜いてあげて。

指先を絡めて、上下に大きく。  
しこしこ、しこしこしこ♪

私の声にあわせて、激しくう♡  
しこしこしこ、しこしこしこっ♪

ほうほう、敏感なエラの張ったところを、  
ねっとり♡ 素早くう♡  
しこしこしこ、しこしこしこっ♪

あんっ、すごい、出てる、出てる♡

オチンポボトルから、シャンパンびゅるびゅる溢れて、  
タワーに注ぐ準備、できたわね。んふふっ♪

さ、このままシャンパンタワーの真上に、  
オチンポの筒先を向けて——ふふっ、とっても上手よ。

もっと手首のスナップを利かせて、そうっ。  
しこしこしこ、しこしこしこ♡

オチンポボトルを、しこしこ扱いて、  
ザーメンシャンパンを、注いであげて♡

それ、それぞれっ、どろっどろのオス汁、  
もっとドバドバぁ、グラスに注いであげて♡

んふっ、イっても、イっても、精液、止まらないでしょう？  
サキュバスの魔力で際限なくイクことができるのよ。

あはっ、びゅっぐびゅぐう、無限絶頂を繰り返して、  
オチンポから、一生分のザーメン出せ、出せっ、吐き出しきっちゃって♡

ほうほう、手を止めないで。  
いっぱい扱きまくって♡

タワーを、どろっどろのザーメンで、  
いっぱいにしてあげて♪

あははははっ、自分の一生分の精液、  
自分で注いでるの、どんな気分かしう。

これで、ゆきちゃんは、  
完全にメスに堕ちちゃうのよ♡

もうオチンポを股間に戻しても、  
空っぽで使い物にならないから。くすすっ♪

ほうほうほう、もっと、たくさん、どびゅうせて♡  
最後まで、ザー汁う♡ 吐き出しきっちゃってええ——ッ♡♡♡

これで撃ち止めかしう♪  
オス一生分のせーし、射精し尽くしちゃったわね。

もう、男にはぜったい、戻れない。  
ゆきちゃんは、メスのサキュバスとして生きていくしかないのよ。  
くすくすくすっ♪

それじゃあ、たっぴりとシャンパングラスに注がれた、  
ゆきちゃんの濃厚なザーメン、みんなで乾杯しましょう。

んふっ、サキュバスのみんな、グラスは行き渡ったかしう♡

私の分は、最後の精液をし〜こしこ♡ 搾って♡

あんっ、甘くて、鼻の奥にツンとくる感じ、素敵♡  
それじゃ、かんぱ〜い♪

んく、んくんく、んくくっ♡

んぷはぁ～っ……はぁ～っ、美味しい……♡

この喉越しに、甘い匂い♡ 胃に落ちていく感じが最高ね♡

あ……ゆきちゃん用に特別な飲みものを準備しているわよ。

ほう、このカクテルをどうぞ♪

んふふっ、美味しかったかしら。うっとりした顔、可愛い♡

今、飲んだカクテルは、色んなオスのザーメンをブレンドして、

サキュバス用に仕立てた特別製よ♡

もちろん、ゆきちゃんのフレッシュな精子も入ってるわ♪

それ、美味しいって思っちゃったら、

ゆきちゃんは、もうおしまい。

完全にサキュバス化を、果たしたってことよ。

けど、とっても素敵で、気持ちいい毎日が待ってるんだもの。

さ、もっとエッチで気持ちいいことしましょう。

んふふふふふっ♪

### ■Tr 03 皆に見られながら女の子の快感を初体験

それじゃ、ゆきちゃん♡

ちゃんとエッチなロリサキュバスになったこと、  
確認していきましょうか？ んふふっ♪

立ったままでいいわ。

さっき魔法で出したミラー、目の間に移動させて、と――

ほう、目の前の可愛い女の子、ゆきちゃんよ。

まずは、おムネから、  
む～にむに、ソフトに揉みながら♡

少し膨らみ始めて、Bカップぐういかしう。  
ロリおっぱいの感度、たまらないでしょ？  
そっと揉まれるだけで、乳首が硬くなってきて、くすくす♪

んふふっ、エッチな声、ハァハァってして、  
感じちゃってるの、すぐにわかっちゃうわね。

手足も細くて、きゃしゃで、  
お肌はしっとり、きめ細かくなって、  
二の腕や、内ももを、そ～っと撫でるだけで、んふ、感度も抜群♡

けど、ぷにぷに柔うかく肉づいて、  
女子の体って感じよねえ。んかっ♪

お腹まわりや、お尻もねちっこく、  
すりすり、撫でまわしてあげるから、  
す〜りすり、すりり、すりり♡

そのまま、じっとして。  
あはっ、いやうしく身を振って、ハァハァしないの。

指先で、脇腹からお尻のラインを、  
す〜っと、撫でていくわね♡

腰回りも、きゅっと括れはじめて、  
背中ラインもきれいなS字を描いてる。

お尻も、少し丸みが出てきて、  
成長期の女子の、えっちな体よね♡

ゆきちゃんみたいな大人をサキュバスにすると、  
普通は、もっと成熟した、ドスケベボディになるのよ。

けど、ゆきちゃんはロリっ娘になっちゃって、  
ね、もしかして、可愛い女子になりたい願望があったの？

成人男性で学校の先生だったのに、くすくす、  
ずっとロリロリした女子になりたかったんだ？

んふ、うつむかないで。

ゆきちゃんの顎先に指を添えて――

ほう、鏡を向いて。

さうさうの髪に、瞳もぱっちりして、

唇もふっくらエッチな感じ。これが今の、キミよ♡

唇を指先で、そ〜っと撫でてあげる。

んふ、ビクってして、感度も良さそう。

キスしたら、そのままドハマりしちゃうそうね。

くすくす♪ それじゃ、試してみましようか？

もちろん、私とキスするのよ♡

んちゅぱっ♡ んちゅ、ちゅ、ちゅが、ちゅぱっ♡

あ……すっごく真っ赤になってる。反応がウブで可愛い♡

もっと、エッチにいじめたくなっちゃうわね。

ね、ゆきちゃん、もしかして今、

お腹の下のあたり、きゅんってなった？

んふ、隠してもダメよ。お股をもじもじさせて、

内ももあたりに、エッチなお汁、垂れてきちゃってる。くすくす。

ここがなにか、わかるわよね？

サキュバスとして生きていくのに、一番大切な場所♡

オチンポを受け入れて、とっても気持ちよくなる、  
ここのお名前はなにかしら？ ゆきちゃんなら、わかるわよね。

ほう、自分のお口で言ってみて——

くすくすっ♪、そうよ。おまんこ♡  
逞しいオチンポ、ズボズボされて、とっても感じちゃうのよ。

んふ、もじもじして、すごく切なそうね。  
けど、私は触ってあげないから。

気持ち良くなりたかったら、自分の指で、  
お股をくちゅくちゅしてみても——

んふ、そうよ。  
さっそく始めちゃうなんて、エッチな子ね。

くすくす、けど、サキュバスとしては合格♡  
人前で恥知らずにオナって、オスを興奮させないとね。

けど、触るだけで、ビクビクして。  
まだ、サキュバスまんこの感度に慣れてないみたいね。

最初は、そおっと指先で、くちゅ、くちゅ、って。  
徐々に激しくしていくといいわよ。

んふ、そうよ、入り口を丁寧にくちゅくちゅして、  
クリトリスを刺激してあげて。



痛いぐらいにクリが勃起したら、  
今度はおまんこの中に指を押し込んで、  
いっぱいズボズボしましょうね♡

溢れたおツユを指先でかき出すみたいにして、  
おまんこのお腹側を、ぐりぐりして♡

指を大きく、ずっばずば抜き差しして、  
いやうしく緩んだおまんこの中を、曲げた指先で擦りあげて♡

中の感じやすいコリコリしたところが、Gスポットよ。  
そこが女子の、いちばん気持ちいいところ♡

そこを集中的に刺激して、どんどん良くなって。  
ほう、もっとエッチな声出して、アへった顔見せて。

くすくす、だんだんサキュバスうしくなってきたわね。  
立ったままで、お股をぐちゃぐちゃして、本当にえっろい姿♡

んふふっ、もっとケダモノみたいな声出して、  
感じまくって、いいのよ。そうしておまんこでイキなさい。

ほうほうっ、いっぱい奥までズボズボして、  
どろっどろになったあそこ、かき混ぜて♡

はぁ、はぁっ、いやうしくオナってる、  
ゆきちゃん、可愛くて、エッチよね♡

見てる私も高がって、エッチな声、出ちゃうわ。  
このままお耳に、ふ〜っ、ふ〜っ、吐息をプレゼント♡  
ふう〜っ、ふう〜っ♡

お腹の中、とろっとろになって、  
おまんこをいじること以外、なんにも考えられないのよね。

身も心も、どんどんサキュバスに堕ちていってるわよ。  
けど、そんなドスケベで、ビッチなゆきちゃん、好きよ♡

腰を突きだして、ハァハァひとりエッチしてる、  
ゆきちゃん、本当にエロ可愛すぎ♡

もう、余裕なさそうね。  
イキかけ寸前って感じかしら？ んふふっ♪

ね、このままイっていいわよ。  
ほうほう、イケっ、イケイケイケ、思いきり絶頂しちゃって♡

サキュバスらしくドスケベにおまんこでオナって、  
イって、イってイってッ♡ イってしまいなさいッ♡♡♡

あはははははっ、すごいわね。  
オナイキだけでなく、はしたなく潮吹きまでしちゃうなんて。

大丈夫？ぐったりしちゃって。  
お股から愛液、だだ漏れよね。くすくすくす♪

ゆきちゃんのイキ顔、  
すっごくエロくて、可愛かったわよ♡

■Tr 04 フタナリサキュバスママに初めてのご奉仕

ね、ゆきちゃん……ぜえ、はぁっ……  
さっきのひとリエッチ、すっごく良かったわよ……♡

はぁ、はぁ、はぁっ、見てる私も、ムラムラしちゃって、  
おまんこ、いじりたくなっちゃってるもの、んふ、くふう♡

あ、あん、あんん、指い、お股のところにやっちゃったら、  
我慢できなくて、くひ、ふひい、んい、んいい♡

おふ、ほふう、んふうう♡ さっき飲んだあ、はひ、んひい、  
ゆきちゃんのザーメンのせいも、あるかも♡

んふっ、それじゃあ、いくわねッ……！  
あ、あお、あおう、あおおおっ、お、おお、おっおおっ♡

ぶっといのお、で、でりゅう……おまんこかうぁ……  
おふ、おふぉ……ほおッ、ほおお……おっほぉおぉおぉ——ッ……♡

くふ、はふう……ふう、ふうっ……………

ほうぁ、見て♡ 私のがつといオ・チ・ン・ポ♡

んふふふっ、目を丸くして♡ 驚いちゃったかしう。

はぁ、はぁっ、私のような上級サキュバスはこうやって、インキュバスの能力も使えちゃうの。

女も、男も、どっちでもイける、いわばバイセクシャルよね。

だって、どちらかに限定しちゃったら、  
エッチなこと、楽しめるチャンスが半分になっちゃうもの♪

あんっ、ちょっと、待ちなさい。くすくすくす。  
そんなに私のふたなりチンポ♡ 気になっちゃうのかしう？

どうして、勝手にひざまずいて、私の勃起に鼻先近づけてるの？  
まだ、なんにも指示してないのに。んふふっ♪

本能的にオチンポ欲しがっちゃうなんて、  
もうすっかりサキュバスよね。くふふっ♪

あんん、犬みたいに舌出して、ハァハァして♡  
オチンポの匂いクンクンしてる。ちょっと情けなさすぎ♪

けど、まだお預けよ。  
私がいいって、言うまでオチンポ、しゃぶっちゃ、ダ～メ。  
目の前で見ることだけ、許してあげる。くすくすくす♪

そんな悲しそうな顔しちゃって～。くふふっ♪

けど、このまま焦らすのも可哀そうだし、  
いいわよ、ゆきちゃん、オチンポしゃぶって♡

あふ、んふう、さっそく舐めしゃぶるなんて、  
浅ましいにもほどがあるわね。  
教師をやっていたとは思えないわ♡

ね、オチンポを舐めるの、もちろん初めてよね？  
さっきまでオスだったくせに、必死にレロレロしちゃって、  
んふふっ、ドスケベすぎよ、ゆきちゃん♪

もっと唾液、沢山まがして、くふ、はふう♡  
んう、んうう♡ ちゅぱちゅぱも、おしゃぶりも上手いわ♪

うん、そうよ。  
亀頭のエラも、裏筋も全部、舐めて、はぁはぁ、  
失っぽも、んふ、くふう、舌でレロレロして♡

んふ、もうすっかりオチンポの味にハマっちゃってるわね♡  
積極的にオチンポ、れろちゅぱする、  
ビッチなゆきちゃん、とっても素敵よ♡ んふふっ♪

ほうぁ、もっ奥まで咥えこんで――

そうよ。膨うんだ亀頭、舌の上で転がして、  
ん、んん、いいわ、たまらない♡

もっと、よ。唇を窄めて、いっぱいぢゅぼぢゅぼして。

あ、ああ……あゝ、くゝゝ、んゝゝんッ……♡

はぁ、はぁ、くゝ、んゝゝ、そうよ。

もっと、いっぱいして、オチンポすみずみまで、

しゃぶって、ちょうだい、くひ、ゝひい♡

もっと頭を動かして、くゝ、んゝゝ♡

ゆきちゃんのお口の中あ、とってもよくって、

ゝゝゝ、ゝゝゝ、オチンポの勃起い、止まらないわ♪

んゝゝ、んゝゝゝ、はぁ、はぁっ、ごめんなさい。

さすがの私も、余裕なくなってきたわ。

勝手に腰い、動いちゃって、んゝゝ、んゝゝゝ♡

ゆきちゃんのお口い、おまんこみたいに使っちゃう♡

んん、んんっ、喉の奥まで、ビキビキにそり返ったオチンポで、

ピストンしてあげるから♡ そうそう、そうっ♡

ぜえはぁっ、目を白黒させて、窒息してえ、

けど、このまま最後までいくわね♡ はう、はうゝゝ♡

ゆきちゃんの中に、どろっどろのサキュバスザーメン、

思いきりぶちまけてあげるっ♡

はぁ、はぁっ、だってえ、ゆきちゃんは私の可愛い妹だもの。  
姉として、いっぱい犯し抜いて、精液で汚してあげたいのっ♡

ほうぁ、あと少しで、くぅ、んぅ、お、おお、おおっ♡  
出るぅ、出るわ、濃いのびゅるびゅるぅ、出すぅ～っ……♡

ほお、ほおうッ、ゆきちゃんッ、私の全部、受け止めなさいっ♡  
ほっおおおッ……ほっおおおおおお——っ♡♡♡

んぅ、はぅ、ああ、いいわ、気持ちいい♡  
ゆきちゃんのお口い、最高すぎぃ♡ おぅ、ほぅ♡

苦しそうにモゴモゴ動いてる、お口にぃ、たっぷりザー汁ぅ、  
ふひ、はひぃ……んいいッ……ふたなり射精いい……たまらないいい～っ……

あお、あおお、あおううう……  
ほうぁ、せっかく出した精液い、吞んでえ～っ♡

んぅ、そうよ、零さないように、ごくごくって、  
あぅ、んぅ、そうっ、おそうじフェラぁ、しながら、飲み干して♡

んぅぅっ、ぜ～んが、飲めたわね。  
ありがとう♡ 可愛い、私のゆきちゃん♪

くすくす、まだ体がビクビクって、エッチに震えちゃってる、  
もしかして精液ごっくんで、アクメっちゃったの？

んふふっ、図星ね。いくら魔力を孕んだ濃い精液でも、  
飲み干してイっちゃうなんて、ありえないって顔してるわね。

けど、おまんこでいったときと同じ感じよね？  
それは、脳イキよ。

いずれは全身が性感帯になっちゃって、  
エッチに高ぶると、ゆきちゃんは体のどこでも絶頂できちゃうの。

やっぱり、ゆきちゃん、エッチよね。  
サキュバスの才能に恵まれてるわ。

その才能、私がこれからもっと開花させて、  
はぁ、はぁっ、いっぱい堕としてあげる♡

## ■Tr 05 皆に囲まれてフタナリサキュバスママとおまんこハメハメ

ね、ゆきちゃん。色っぽい顔で、ハアハアしてえ、  
すっごくオチンポ欲しそうね？ ね、正直に教えて。

んふふっ、私のふたなりチンポが、いいのね。  
おねだりできて、エライわ。

真面目に教師をやっていたのに、もう、すっかり淫乱なサキュバスに堕ちてしまったの  
ね♡



それじゃ、んしょ、っと、私が仰向けになるから、  
ゆきちゃんが自分から、跨ってきなさい。

私のオチンポ、くふ、んふう、ゆきちゃんのおまんこが欲しくって、  
はぁ、はぁっ、ギンギンにそり返って、カウパーだだ漏れえ♡

さ、いつでも大丈夫♡  
跨ったままで、ゆっくり腰を落としてきて♪

あんんっ、ほうぁ、もっと腰をくっつけていいわよ。  
最後まで私の勃起したオチンポ、しっかりと飲みこんで♡ んん、んんんっ♡

あはっ、おまんこの奥、  
ぐいぐい拵げられてる感じ、どうかしら？

私も腰揺さぶって、ん、んん、  
ゆきちゃんのエッチなお股、ぐちゅぐちゅしてあげる。  
それ、それっ♪

ほうぁ、そのまま腰、上下に動かして、  
オチンポ、食っていいのよ。  
なんにも恥ずかしくないわ、  
だって、ゆきちゃんはドスケベビッチなサキュバスだもの♡

あ、あふ、はふう、いいわ。  
とろっとろのおまんこで、シコシコされてえ、  
はぁはぁ、濃いの、上がってきてる♡

それに、騎乗位で跨ったままで、アヘった顔で、  
いっぱい腰振ってるゆきちゃん、可愛い♪

んふ、周りのみんなも、興奮してきたみたいね。  
くふ、ひふう、お股をまさぐって、オチンポの準備かしう♡

ん、んん♡ サキュバスのふたなりチンポがいっぱい♡

勃起したオチンポに囲まれてるの、どんな気分。  
これ全部、ゆきちゃんを狙ってるのよ。ん、んんっ♡

ほう、顔の前に出されたものから、順番に抜いてあげて。

んふふっ、私のものを咥えこんだまま、  
左右のオチンポ抜くなんて、とってもいやらしいわ♡

んんっ、それにおまんこ、きゅうきゅう締まって。  
中のヒダヒダ、とろっとろに絡んで。ん、んん、素敵よ♡

犯されて、こんなに喜ぶおまんこ、ひさしがり♪  
どんどんメスになっちゃってるわね。

んふっ、あううっ、とうとうお口のほうも、  
フェラチオはじめちゃって、くすすっ♪

両手に、おまんこ、お口まで♡  
四本同時にオチンポ楽しんじゃってるわね♪

んふふっ、頑張って。

ゆきちゃんが可愛くて、エッチすぎるから、  
他のサキュバスたちも興奮しちゃってるのよ。

喉の奥までズボズボ、突っこまれて、  
苦しそうだけど、でも、それで高がっちゃってるのよねえ。

両手も、お口も、おまんこ扱いされて、  
今のゆきちゃんの身体は、えっらいオナホよね、ん、んんっ♡

けど、ゆきちゃんは、オチンポほしがりサキュバスだもの。  
仕方ないわよね♡ んふ、くふっ♡

はぁ、はぁっ、おまんこの締めつけ、  
すっごい、お、おおっ、私も玉々、引きあがってえ、  
精液、発射準備い、しひゃってるわ♡ んう、んううッ♡

けど、私よりも、他のみんなのほうが、限界みたいね。  
んう、んうっ♡ それ、ゆきちゃん頑張って♡

窒息しそうだと思うけど、頭いっぱい振って、  
両手もシコシコしてあげて。

お口も手も、びくっびくオチンポ跳ねてるの、わかるわよね？  
ゆきちゃんでも興奮して、もう出しそうなの♡  
精液、吐き出したって、ハアハアしちゃってるのよ。

ほうほう、あと少しで、ぐちまけられちゃうわよ。

お口の中も、手も、びしゃびしゃザーメン浴びせられて、  
どろっどろにされちゃうわねっ♡

んんっ、ほうぁ、私以外の子は、み～んな、お射精しちゃったわ♡  
濃いチンポミルクで、ゆきちゃんの全身、真っ白ね。  
匂いも、ねばりもすごいでしょ。

んふふっ、耐えきれなくて、  
お口離しちゃうなんて、まだまだね♡

けど、唇の端から、いっぱい精液垂れてえ、  
ゆきちゃんのお顔、すごくえっちい♡

最後は私が本気ピストンで、  
めちゃくちゃにアクメさせてあげるわ♡

それじゃ、いくわねっ——

ん、んん、んんっ♡  
腰を思いきり突き上げて、  
もっと荒っぽく、犯してあげるわねっ！

ほうっ、ほうほうっ！！  
おまんこの底も、んう、んううっ、  
激しく挟ってあげるっ♡

おまんこ全部、ぐच्चゅぐच्चゅ、  
かき混ぜながらぁ、一番底を、んい、んいい♡  
いっぱい叩いて、そう、そうっ、  
いつでもイっていいわよ。

腰を跳ねさせて、騎乗位のゆきちゃんを、  
下から犯しまくってあげるからっ！

あふ、んふう、とろっとうのおまんこ、  
エッチに絡んできて、素敵よ。

いやらしい欲しがりおまんこ、  
もっと、いっぱい責めてあげるから♡

あんんっ、ゆきちゃん、  
急に抱き着いてきて、可愛いっ♪

おまんこ、ぐच्चゅぐच्चゅされすぎて、  
身体、起こしてられなくなったの。くすくすっ♡

けど、手加減しないわよ。  
だって、ゆきちゃんのおまんこに、  
たっぷり射精したいものっ♡ ん、んん♡

子宮が歪むぐらい、激しい突きあげえ、  
んう、んうう、たくさん、してあげるっ♪

そうっ、そうそうぁッ、  
奥のコリコリしたとこ、いっぱい混ぜ混ぜして、  
子宮の中も、ズボズボっ、犯しまくっちゃうわよッ♡

もっと感じて♡ このままイっていいわよ♡

最高にアクメったおまんこに、たっぷり濃いのお、  
びゅっぐびゅぐう、ナマ種付けえ、してあげるわねッ♡

ほうほうほうぁ、ほうぁ〜ッ！  
イケっ、イケイケイケっ♡ イケェッ♡

いっぱいエッチな声、あげながら、  
ポルチオイキい、キメちゃいなさいッ♡♡

んふぁ、あふぁぁ、あっはぁぁぁぁぁ——ッ♡♡♡

んう、んうう、んふううううう、妹サキュバスにい、  
中出しい、くふ、はふう、素敵すぎる……ん、んんっ……♡

ぜえ、はぁはぁ、お腹、張ってきて、あんんっ、  
ゆきちゃんのおまんこから、私の精液、逆流しちゃってるわね。  
んふふふっ♪

ほうぁ、まだ射精、とまらないから♡

あ……ザーメン、たっぷり注ぎこまれて、  
サキュバスの淫紋が反応してるわね♡

これだけサキュバスの精液、出されたら、  
人間なら百パーセント、妊娠ね。くすくす。  
安全日でも、即排卵して、受精着床しちゃうわ♪

けど、サキュバスなら大丈夫♡  
出されたザーメンは、全部、身体が吸収してくれるの。  
それが、私たちの生きる糧よ。

セックスを心ゆくまで楽しむだけで、  
ずっと生きていられる。それが私たちサキュバスなの。

ゆきちゃんも、立派なサキュバスに堕ちきったってこと。  
んふふふっ♪

それにしても、はぁ、はぁっ、すごいイキっぷりね……  
まだ、エッチに体をビクビク跳ねさせて、アクメったままだなんて♡  
見てるだけで、ぞくぞくするわねえ。

今日は、ゆきちゃんのおかげで、  
とっても楽しい夜になったわ。くすくす。

キミをサキュバスにできて、本当によかった♪

これから、ずっと一緒よ。  
ドスケベな私の妹、ゆきちゃん♡ んちゅぱっ♡

【スノウ】

人間界の繁華街なんて久しぶりに来たけど、  
いつ来ても、この場所は人間の欲望が渦巻いていて、  
とっても刺激的ね、はぁ、はぁっ♡

今、路地を歩いてる男の子よね？

ゆきちゃんが、狙ってるのは。んふふっ。

確かに、整った顔に、すうりとした手足の、可愛い子。

ゆきちゃんが気になるのも、わかるわよ。

それじゃあ、行きましょう♪

【レン】

な、なんです、あなたたちは……！

【スノウ】

私はサキュバスのスノウよ。んふふっ♪

落ち着いて、レンくん。

あなたに危害を加えるつもりはないわ。

【レン】

え……どうして、僕の名前を……ごくっ……！



【スノウ】

んふ、私の隣の、この子が教えてくれたのよ。

実は、この子は、あなたの担任教師なの。

性欲に吞まれ、押し流されて、変わり果てた姿。

【レン】

でも、先生は、こんなに小さな女の子なんかじゃ……

【スノウ】

そう思うわよね。くすくす♪

けど、サキュバスに堕ちて、

こんなにあどけない女の子になっちゃったの。

目の前のロリサキュバスは、

間違いなく、あなたの先生よ。

【レン】

ううっ……けど……

え……それって……先週、相談した……成績の話……

ううっ……先生にしか、話してないのに……うそ、だよね……！

あ……や、やあっ……先生、近づいてこないで……

んぶ、はぶぶう、んちゅ、ちゅぱ、ちゅぶう♡

ふう、ふうっ、や、やめてよ……！

先生だったら、なおさう、こんなこと……しないで……

あうう、お兄ちゃんなんて、言わないで……！

【スノウ】

んふふっ、前から、

ゆきちゃんは生徒のレンくんのこと、気に入ってたのよね。

それがサキュバスになって、弾けちゃったのよ。

最初の獲物はあなたがいいんだって。くすくすくす♪

ほう、ゆきちゃんの気持ちを受け入れてあげて。

だって、レンくんも、先生であるゆきちゃんに懐いてたのよね。

【レン】

でも……それと、これとは……！

先生は、こんなに幼くて、エッチな雰囲気じゃ……

あ、あんっ……あんんっ……♡

【スノウ】

んふふっ、でもレンくんも、オチンポがちがちにして、

ゆきちゃんのロリロリな身体に反応しちゃってるわよね？

んふっ、お似合いの二人ね。

少しヤケてきちゃうわ。

それじゃ、レンくんのオチンポ、

いっぱい可愛がってあげて♡

私も、一緒にしゃがみこんで、  
ゆきちゃんのえっらいフェラ顔、  
間近で見ててあげるから♡ んふふふっ♪

【レン】

え……可愛がるって……あ、ああっ……！

あふ、んふう、そんな、僕の……おちんちん……  
ん、んんっ……レロレロしないでえ……♡

くふ、ひふう、んんっ……や、やんっ……  
ますます、大きくなって……♡

【スノウ】

くすくす、エッチにそり返っちゃって、  
ショタチンポ、とっても可愛い。

それに、ゆきちゃんのフェラ、  
全然、余裕なさそうで、はぁ～っ、好きいい♡

さ、もっと激しくしてあげて♪

【レン】

はうう、僕う、先生にフェラされて、  
よくなっちゃって、こんなのいけないことなのに……！

【スノウ】

さ、ゆきちゃん。そのまま、教え子チンポ、  
奥まで咥えこんで、いっぱいお口まんこで、扱いてあげて♡

【レン】

……あう、あううっ……や、やめてよぉ……！

んう、んううっ♡ 先生のエッチな唇、くひ、んひい、  
絡んできて、あ、あん、あんんっ……や、やうぁ……♡

あふ、んふう、本当にダメだから、ん、んんっ♡

くう、くうっ、腰、勝手に動いて、  
先生のお口に、おちんちん抜き差ししちゃう、んう、んうう♡

こんな、いい、いいの♡  
エッチなベロぉ、やうしく絡んできて、  
ん、んん、気持ちよすぎぃ……

こんなのず、ずるいよ……  
我慢できないから、んふ、はふう……♡

はぁ、はぁっ……あううっ……  
も、もうっ、限界ッ……でっ、出るう……

う、うう、んうう……  
先生のお口に、出しちゃうッ……！

あう、あうう、あうううっ……

んっくううううう——ッ！！！！

ううっ、射精、止まらないッ……！！

んん、んんん、んっんん——ッ！！

ひゃうんッ♡ お口の中だけじゃなくてえ、

先生の顔に、びしゃびしゃあ、せーし、ぶっかけちゃってえ……

んえ、んええ……んふええええ……………

【スノウ】

あんっ……こっちまで精液、飛んできたわね……

指先で拭ってえ、んぢう、ぢうるう……

とっても素敵な濃い、精液い……ぢうるるるっ……んぷはぁ～っ♪

はぁ、はぁっ……エッチな味い……

私も、レンくんのこと、気に入ったわ♡

ね、ゆきちゃん。

レンくんもこちらの世界に堕としましょう♪

【レン】

え……なにを、言って……あ、ああ、あっああっ……

くひ、んひい、お口で、おちんちん吸われてえ……♡

動けないっ……んい、んいい……んっひいいいいい——ッ！！！！

【スノウ】

想像してみて？

レンくんがどこにも行かないように自由を奪って、

この可愛いショタチンポには、ずっと射精寸前の状態になる魔法をかけるの。

あふ、はふう、そして、いつでも好きなだけ精液を出してくれる、ゆきちゃんと私、ふたり専用の、

ミルクサーバーにするなんてどうかしら？

素敵でしょう？♡

んっふふふふふふふふふっ ♪